

議 事 録

		作成年月日		
		令和2年12月4日		
日時	令和2年12月4日 10時から12時まで		作成	承認
場所	あわら市役所 正庁		渡邊	
出席者 (敬称略)	別添資料参照（第3回あわら市道の駅基本計画策定委員会名簿）	欠席：市議会議長 山田氏、福井県交流文化部 獅子原氏、福井県農林水産部流通販売課 吉澤氏 代理：観光協会 米由氏、福井県土木部道路保全課 松井氏		
会議の趣旨	第3回あわら市道の駅基本計画策定委員会次第 参照			
資料	別添			
議事内容				
<p>【1. 川本委員長あいさつ】</p> <p>第2回では施設などのハード面、ゾーニング計画などについて、ご意見いただいた。今回は、意匠や管理運営などについてのご意見を頂きたい。今回で決定するというわけではないので、忌憚ないご意見を頂戴したい。</p> <p>【2. 協議事項】</p> <p>I. 道の駅導入機能及び施設等について</p> <p>① 施設レイアウトに関する第2回策定委員会の主な意見 資料1に沿って事務局（政策広報課 藤田）より説明。</p> <p>② 休憩機能・情報提供機能・地域振興機能・周遊観光促進機能施設レイアウト ・資料2-①、-②、-③に沿って事務局（国土開発センター 辰野）より説明。 ・資料2-④に沿って事務局（阿部総合計画事務所 阿部）より説明</p> <p>③ 駐車場 資料3-①、-②に沿って事務局（土木部 伊藤）より説明。</p> <p>[質疑応答]</p> <p>・福井県土木部 道路保全課 松井氏： <u>大型車の第2駐車場への駐車について</u> 大型車は観光バスだけではなく、物流のトラックなどもある。道の駅はこうした運転手のトイレ・休憩スペースとしての側面を持ち、駐車場とトイレ・休憩施設が近くにあったほうがよいということもある。こうしたことから、駐車場レイアウトを固めるにあたっては、近畿地方整備局と引き続き協議をして頂きたい。</p> <p><u>施設レイアウト2-①、2-②について</u> 道路管理者としては、駐車場とトイレが近いことが望ましい。2-①では近いと思うが、2-②は遠いように感じる。2-②になったとしても、駐車場とトイレが利用しやすい動線を考えてほしい。</p> <p>A. 佐々木あわら市長： トイレの位置については、今後協議させていただきたい所だが、一番景観の良いところにトイレがあるというのは如何なものかと考えている。できればトイレは国道から離れたところに設置したい。そのため2-②、2-④のようなレイアウトがよいと考えている。</p>				

- 三国土木事務所長 神門氏：

駐車場のレイアウトについて

高速道路のサービスエリアなどを見ると、出入口付近は駐車スペースを斜めするなどして、車の出入りのし易い配置としている。そういう観点でレイアウトを設計してはどうか。そうなった場合、駐車台数の確保が難しくなる。今回の第1駐車場レイアウトでは、駐車場内に歩道を設置しているが、少しでも歩道を狭めれば駐車スペースが確保できるのではないかな。

- A. あわら市土木部 伊藤理事：

三国土木及び県道路保全課と協議しているところだが、歩道の幅員は案内標識の看板の設置スペース.05m、通行スペース2.0mとして、2.5mを確保している。バリアフリーを考えると1.8mとなることから、縮められて10~20cm程度となる。

斜めの駐車スペースをとることについては、駐車台数が減少することが考えられるが、検討させていただきたい。

2-②、2-④について

2-②の場合、搬入車が搬入口と市道との間をスロープから進入し、ハンドルを左、右と二回切って入っていくことになるが、これでは入りにくいのではないかなと思う。2-④の場合、真つすぐ乗り入れできる場所がよい。スロープが中央にあるが、建物側に寄せて設置するとより使いやすいのではと考える。

- 吉崎地区区長会 末富氏：

2-④について

2-①、2-②には、国道側に自転車、バイクなどの駐輪スペースがあるが、2-④には見受けられない。無くす案なのか。

- A. 阿部総合計画事務所 阿部氏：

無くす予定はない。国道側ではなく、テラス下の第1駐車場側に設置される予定。台数も2-①、-②と同様。また第1駐車場レイアウトの通り、建物と第1駐車場の間に歩道が入る予定だが、このあたりは調整して、建物側に駐輪場を設置するか、駐車場側に設置するか検討する予定。

- 補足. あわら市土木部 伊藤理事：

第1駐車場レイアウト3-①の建物付近の歩道傍に自二4台と記載があるが、これはバイクの駐車スペースのことを示す。2カ所設置予定のため合計で8台の駐車スペースを確保予定。

汀公園のトイレについて

既存のトイレについてはどうなるのか。無くなるのか。

- A. 佐々木あわら市長：

汀公園のトイレは無くさない方向で考えている。改修もしくは公園の中側へ移設するなどの必要があると考えているが、移設する場合、駐車場からのアクセス性など別途議論する必要があると思われる。また、第1駐車場レイアウトに記載のトイレの後ろ側、自然館と汀公園との間にあるコンクリートブロック塀について、湖畔側は撤去する予定となっている。

- ・きららの丘担当課長 深町氏：
従業員の休憩スペースについて

従業員の休憩場所は事務室もしくは会議室となるのか。食事を取ろうと思うと 20 m²の事務室では狭い気がする。どの程度の人数が入ることを想定しているのか。明確な休憩スペースがないと従業員のストレスに繋がるので必要と考える。また従業員更衣室も設置の必要がある。

A. 佐々木あわら市長

小浜市や永平寺町の道の駅を視察したところ、そちらも従業員向けのスペースが確保できておらず、苦勞されていることを痛感した。よく考慮して検討したい。

従業員出入口について

防犯の観点から出入口の扉の位置は重要になる、よく検討頂きたい。

- ・細呂木地区創成会副会長 酒井氏：
業務車両の搬入路について

バックヤードへの業務用車両の出入り方法を決めておいたほうがよいと考える。例えば、国道→駐車場を経由して搬入口に入り、搬出後は吉崎の町中へ出ていくようにするなどバックヤードへの搬入をスムーズにする工夫ができるのでは。

A. 政策広報課 江川課長：

国道に向けてすばまった土地なので、難しいかもしれない。隣地のスペースを活用してスムーズに搬入出できるようにするよう検討させていただきたい。

→業務車両が国道から乗り入れて国道に出ていくことを想定しているのか。あるいは市道もしくは国道から入って、反対側へ通り抜けることを想定しているのか。

補足. 佐々木あわら市長：

地元の方々と安全性などについて協議して決定したい。

蓮如忌の時期の駐車場について

現在でも蓮如忌の期間は、既存の駐車場だけでは足りなくなっている。そのようなイベントの時、どのように駐車台数を確保するかも考えておく必要があると考える。

A. 佐々木あわら市長：

駐車場の台数については議論になっているところであり、現在は臨時駐車場で賄っているが、足りないことは承知している。

II. 空間計画・意匠計画について

資料4に沿って事務局（政策広報課 藤田）より説明。

[質疑応答]

・質問なし

(コメント)

福井大学 川本教授：

自然、文化が調和した、落ち着いた空間・演出というのがこの道の駅のキーワードになると考える。そのほか寺内町やバリアフリーのこと、あわら市で一体的に実施していくことなど、よく網羅した計画になっているように思われる。

III. 管理運営の基本方針について

資料5、道の駅「禅の里」「若狭おばま」平面図に沿って事務局（政策広報課 江川）より説明

[質疑応答]

・福井大学 川本教授：

各道の駅のレイアウトや配置について

それぞれの道の駅を視察して、レイアウトや配置について、何か気づきはあったか。

A. あわら市農林水産課 宮川補佐：

手書きのポップで、親しみやすさ、ここだけ感の演出を行っていると感じた。店内が狭く詰まったようになっていて、わくわく感のあるレイアウトだった。

A. あわら市観光振興課 細川補佐：

道の駅ごとに物販に特色があり、吉崎の道の駅でも特色を出す必要があると感じた。

A. あわら市建設課 高橋補佐：

売り場の通路の広さが、カート同士がすれ違えないくらい狭いところもあれば、余裕のあるところもあり、道の駅によってまちまち。それぞれの方針だと思うが、吉崎はどのような売り場にするのか考えなければならないと感じた。

トイレについて

「若狭おばま」は和式トイレが多いように見受けられる。和式はあまり使用されないが、そのあたりはどうか。また女性のトイレが少ないのではないか。そのあたりの指摘・意見はないか。

A. 佐々木あわら市長：

道の駅の開駅が平成23年で、十数年前の設計ということもあり、洋式が少なかったのではないか。だがきれいに管理されていた。

補足. 佐々木あわら市長：

「若狭おばま」は、レヴィック（REVIC：地域経済活性化支援機構）から、オープンから数年の間、経営に関する専門職員を派遣してもらっていた。そこから経営のノウハウを吸収できたとおっしゃっていた。

どちらの道の駅も正職員は駅長だけであり、やはり駅長がキーパーソンであると感じた。指定管理についても、何らかの形で地元の人に関わってもらえるようにする必要があると思う。運営も、行政があまり関与しないで民間にやってもらうようにし、地元の人にも参加してもらえるようにしたい。

禅の里の駅長さんは上志比村を何とかしたいという熱い思いを感じる方だった。

(コメント)

福井大学 川本教授：

視察してきた中で、熱意のある方が駅長をやられている所が多かった。このような方を如何に見つけて、駅長になってもらえるか、または育成していくかということが非常に重要。一緒に創り上げていくという感覚を持っていることが大切だと思う。

福井県土木部 道路保全課 松井氏：

道の駅のキーパーソンである、駅長の育成が非常に大切になると思う。今回視察された「禅の里」「若狭おばま」は、積極的に活動され、成功している駅。この2つの駅は、地元の市町からのバックアップがしっかりとしている道の駅でもある。道の駅が出来た後もしっかりバックアップできる体制を整えてもらいたい。

IV. その他

(全体を通して)

[質疑応答]

- ・北潟地区区長会会長 古橋氏：

業務車両の出入りについて

業務車両の国道からの出入りは、住民が怖い思いをすることに繋がるのではないか。営業時間中の搬入車両の出入は、吉崎の町中を通るルートに指定するなどできないか。

- A. 佐々木あわら市長：

念頭において検討したい。

- ・細呂木地区創成会副会長 酒井氏：

道の駅の物販について

物販について、どんな品をどの程度の量、金額で扱うのかシミュレーションしておくべきではないか。その内容によって販売所やバックヤードのレイアウトが変わる。扱うものが決まってから、施設が合っていないとなっては遅い。加えて、吉崎の売りについても並行して議論する必要がある。

- A. 佐々木あわら市長：

視察した2駅は、運営しながら周囲の状況変化に合わせて対応していた。そのため当初予定していた取り扱い品目から変化していると聞いている。また売り方の仕組み作りも大切になる。「禅の里」のような協議会の設置など、仕組みについてよく考えたい。きららの丘との差別化や加賀市の特産品の取り扱いなど、取り扱う産品について議論し、来年の三月までには、大まかなものを決定し、設備等の議論を行いたい。

- ・きららの丘担当課長 深町氏：

農産物や水産物の直売所を持つ道の駅はいくつかあるが、いずれも経営状況が悪化していると聞く。農産物直売所と指定管理料だけでは、経営は黒字にはならないと考える。収益性を良くするためには、加工品なども扱う必要があるが、どの程度経費が掛かるのかなど考慮しなければならない。持続的に運営するにあたって、一番大きな出費は人件費だが、そのあたりしっかりシミュレートする必要がある。経営をきっちりできる指定管理者を選定しないといけない。

- A. 佐々木あわら市長：

視察した駅では、製品のマージンは農産物は10%、加工品は15%といったように製品の種類や取り扱う業者によって違う。経営について学びながら検討する必要がある。銀行やレヴィックなども活用したい。色々ご相談することがあると思うがよろしくお願ひしたい。

- ・あわら市商工会会長 赤尾氏：

物が売れるには、まず人が集まる仕掛けが大切。運営事業者にも、企画力のある業者を選定する必要があると思う。また禅の里でイベントなどを行ったとき、駐車場が足りなくなると聞いている。そのあたりを見据えた駐車場の余地の確保が必要。

【コメント】

佐々木あわら市長：

今回は考える材料を提出させて頂いた。次回は、委員会の前に個別にご相談をさせていただいてから、ご報告させていただく。その際はよろしくお願ひしたい。

【3. その他】

[事務局より]

(今後のスケジュールについて)

- ・別添スケジュールのとおり
- ・第4回：令和3年1月26日（火）14:00より

【副委員長挨拶】

今回も貴重なご意見をありがとうございました。頂いたご意見は事務局でまとめて反映したものを1/26の委員会でご提案する。また1/26の委員会では、基本計画案の素案を決定したい。ご意見などについて随時事務局に伝えて頂ければと思う。また次回もよろしくお願ひしたい。

以上